

## 中国電力グループ統合報告書 2025 および SASB スタンダードに基づく情報開示の一部訂正について

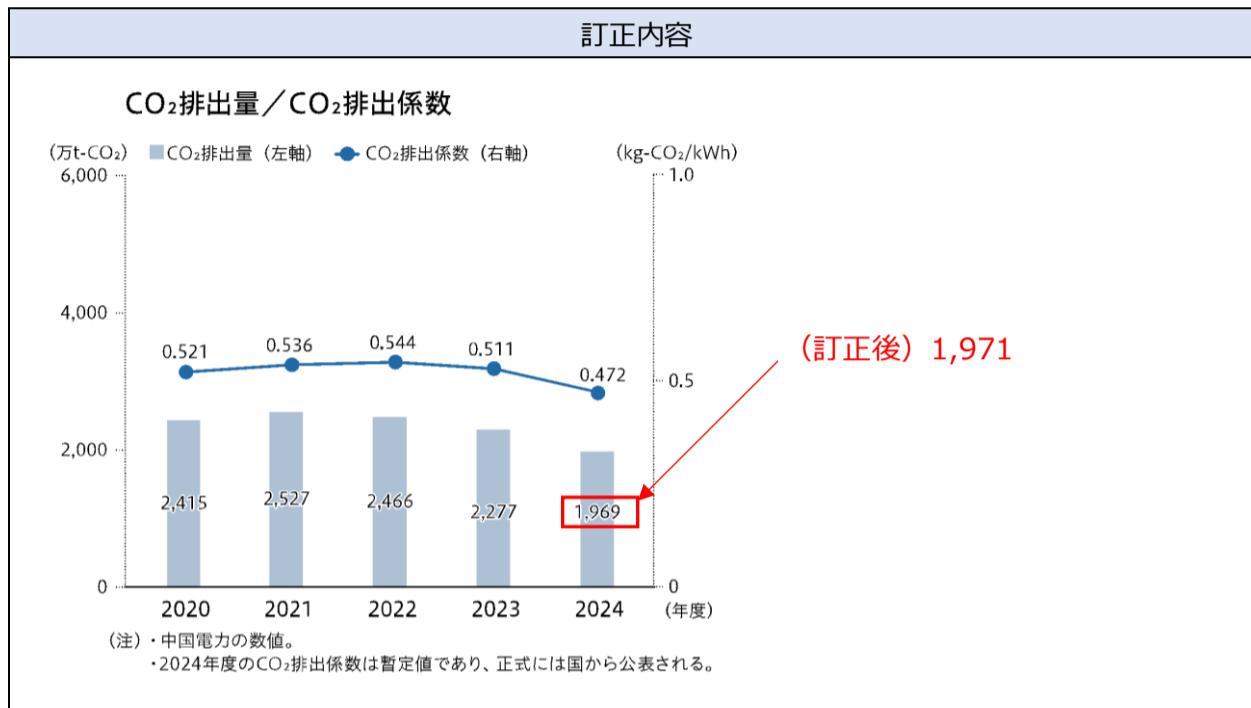
2025年9月30日に公表しました「中国電力グループ統合報告書 2025」および「SASB スタンダードに基づく情報開示」につきまして、一部記載に誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

### 【訂正箇所】

#### 1. 中国電力グループ統合報告書 2025

##### P8 財務・非財務ハイライト

(CO<sub>2</sub>排出量／CO<sub>2</sub>排出係数)



##### P49 中国電力グループ環境目標

[ I . 地球温暖化対策の推進]

訂正内容						
<b>中国電力グループ環境目標</b> <b>2024年度実績と2025年度目標</b> 環境目標14項目のうち、10項目が達成、2項目がほぼ達成、2項目が未達となりました。2025年度も環境目標の達成に向け、継続して対応していきます。						
中國電力グループ環境経営方針 P58 						
I. 地球温暖化対策の推進  II. 循環型社会形成の推進  III. 地域環境保全の推進  IV. 環境コミュニケーションの推進  V. 環境マネジメントの実践	実行計画	項目	目標	2024年度実績	評価	備考
	安全確保を大前提とした 原子力発電の活用	鳥栖原炉2号機再稼働 および3号機運転開始の早期実現 <sup>※1</sup>	(2号機)2025年1月商業運転開始 (3号機)新規制基準審査対応中			
		再生可能エネルギー新規導入量	2020～2030年度 30～70万kW	37.0万kW		
		再生可能エネルギー導入拡大 に向けた対応	可能な限り導入 (系統接続量)	1,673万kW ・接続済:1,314万kW ・接続申込:359万kW		
		火力発電効率	2030年度までに 省エネ法ベンチマーク達成 <sup>※2,3</sup>	火力A:1.04 火力B:44.3% 石炭:45.51%		
		省エネ化に資する 製品・サービスのお客さまへの提供	2030年度 エコキュー普及台数90万台以上	75万台		2024年度計画75万台(累計)に対して実績75万台(2023年度実績比+1万台)
		自動車の低燃費推進	2030年度 業務用車両(特殊車両等を除く) 電動化率100%	30.3%		2024年度計画31%に対して実績30.3% (2023年度実績比-8%)
	CO <sub>2</sub> 排出量	小売事業と発電事業とともに、2030年度 CO <sub>2</sub> 排出量半減(2013年度比) <sup>※1</sup>	小売事業:1,969万t-CO <sub>2</sub> (53.4%減) 発電事業:1,562万t-CO <sub>2</sub> (37.6%減)			
	CO <sub>2</sub> 排出係数	「2030年度におけるエネルギー需給の 見通し」に基づく国全体の排出係数実現 に向けて挑戦する <sup>※1,3</sup>	(2023年度) 0.422kg-CO <sub>2</sub> /kWh <sup>※4</sup>			
	II. 循環型社会形成の推進	石炭灰の有効利用率	99%以上	95.7%		セメント需要減等により石炭灰の有効利用率が低下
		石炭灰以外の 廃棄物内資源化率	95%以上	93.6%		鍋島の除却工事において化学物質等が付着した産業廃棄物が発生したため、内資源化率が低下
	III. 地域環境保全の推進	PCB処理	2026年度までの全量処理	順次処理中		
	IV. 環境コミュニケーションの推進	次世代層を対象とした エネルギー環境教育支援活動	積極的な実施	233回		きらら浜自然観察会(山口県周南市)、森林イベント(広島県北広島町)等を開催
	V. 環境マネジメントの実践	環境管理の徹底	グループ化となった環境管理制度の 実施と環境法規制の遵守	指導1件		フロンの未回収による自治体からの指導 (再発防止を実施済)
	社員の環境教育受講率 <sup>※5</sup>	100%	100%			

※1 中国電力が<sup>※</sup>。

※2 中長期的に達成すべき省エネルギーの基準であり、目指すべき水準として電力供給業者はA指標(1.00以上)、B指標(44.3%以上)、石炭火力発電効率指標(石炭火力発電効率:43%以上)が定められています。

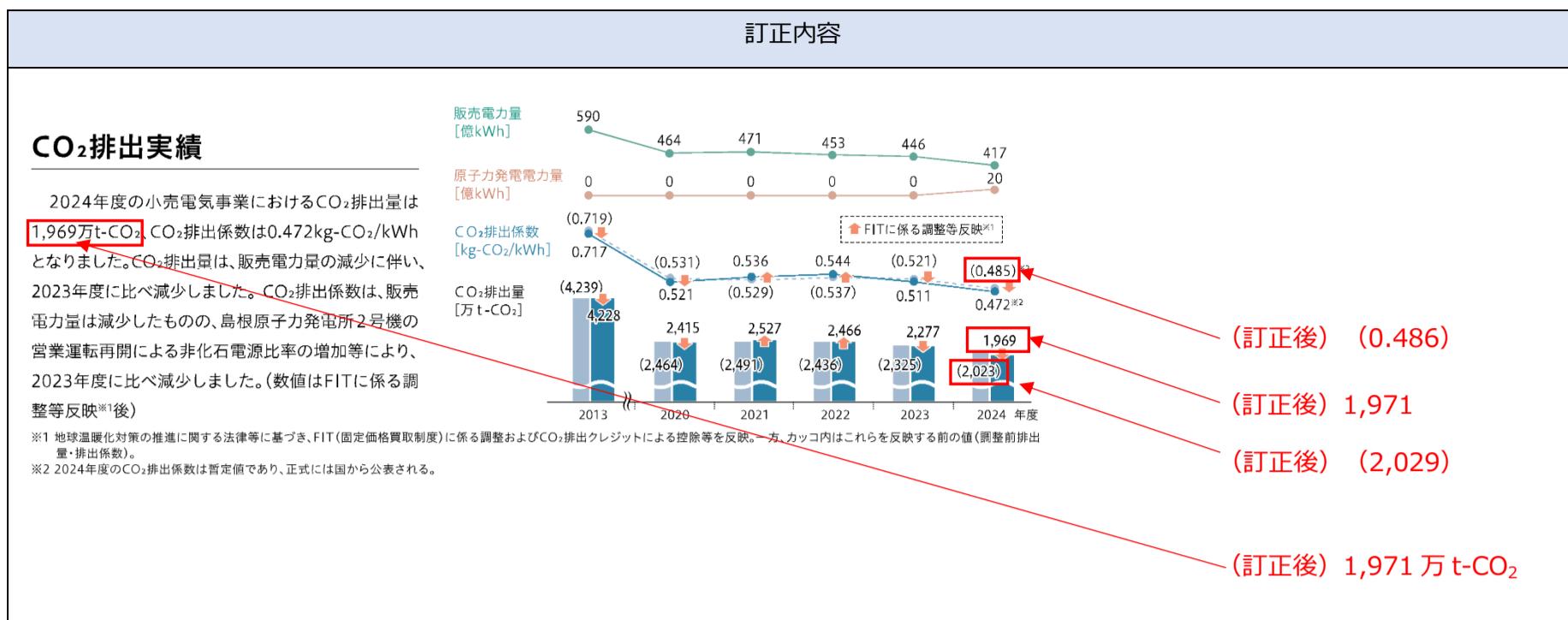
※3 本目標は、電気事業者協会社会連携会(以下、ELCS)における目標であり、国が掲げる<sup>※4</sup>46%目標(2013年度比)に向かう、開始直面における様々な課題の克服を想定した場合の見通し。この見通しが実現した場合の国全体での排出係数は、0.25kg-CO<sub>2</sub>/kWh程度(使用済)。

※4 ELCSのCO<sub>2</sub>排出係数の2024年度実績は確定していないため、前年度実績より評価(2025年9月時点)。

※5 地球温暖化対策、循環型社会、生物多様性などに関する教育。

## P 50 I. 地球温暖化対策の推進

[CO<sub>2</sub>排出実績]



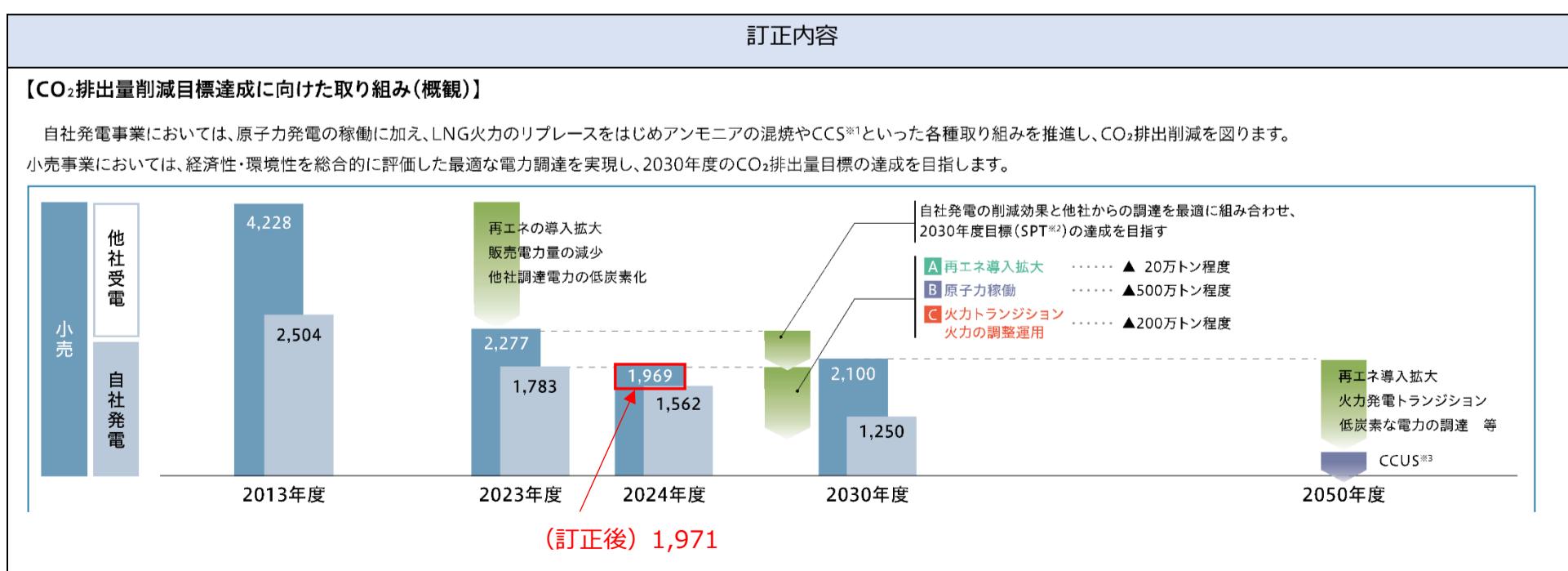
## P 62 TCFD 提言に基づく情報開示

[指標と目標]

訂正内容																																								
<b>指標と目標</b>	<p>2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、2030年度目標を定め、目標達成に向け必要な投資を行っていきます。実施状況については、中国電力グループ環境行動計画の中で管理しています。</p> <p><b>【気候関連の目標】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">指 標</th> <th>目 標</th> <th>2024年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"><b>CO<sub>2</sub>排出量</b></td> <td>小売事業と発電事業ともに、2030年度CO<sub>2</sub>排出量半減(2013年度比)</td> <td>小売事業:1,969万t-CO<sub>2</sub>(53.4%減) 発電事業:1,562万t-CO<sub>2</sub>(37.6%減)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"><b>供給面</b></td> <td>再生可能エネルギーの新規導入量 ①</td> <td>2020~2030年度 30~70万kW</td> <td>37.0万kW</td> </tr> <tr> <td>カーボンニュートラル電力の活用拡大 安全確保を大前提とした原子力発電の活用 ②</td> <td>島根原子力発電所2号機再稼働および3号機運転開始の早期実現</td> <td>(2号機) 2025年1月営業運転再開 (3号機) 新規制基準審査対応中</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"><b>需要面</b></td> <td>火力発電のトランジション ③</td> <td>火力発電効率</td> <td>火力A:1.04 石炭:45.51%</td> </tr> <tr> <td>お客さまの脱炭素化ニーズにお応えするソリューション提案 ④</td> <td>省エネ・電化に資する製品・サービスのお客さまへの提供</td> <td>2030年度 エコキュート普及台数90万台以上</td> <td>75万台</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【サプライチェーン温室効果ガス排出量】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>2022年度実績</th> <th>2023年度実績</th> <th>2024年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スコープ1 (事業者自らによる温室効果ガスの直接排出)</td> <td>1,961万t-CO<sub>2</sub></td> <td>1,805万t-CO<sub>2</sub></td> <td>1,583万t-CO<sub>2</sub></td> </tr> <tr> <td>スコープ2 (他社から供給された電気の使用に伴う間接排出)</td> <td>0.004万t-CO<sub>2</sub></td> <td>0.003万t-CO<sub>2</sub></td> <td>63万t-CO<sub>2</sub></td> </tr> <tr> <td>スコープ3 (スコープ2以外の間接排出)</td> <td>1,300万t-CO<sub>2</sub></td> <td>1,327万t-CO<sub>2</sub></td> <td>1,185万t-CO<sub>2</sub></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">中国電力グループ環境目標 2024年度実績 P49</p> <p style="text-align: right;">(注1) 中国電力および中国電力ネットワークの合計数値。 (注2) 「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン(Ver.2.7)」(環境省・経済産業省)等に基づき算出。</p> <p style="text-align: right;">非財務(ESG)データ 環境 P122</p>	指 標		目 標	2024年度実績	<b>CO<sub>2</sub>排出量</b>		小売事業と発電事業ともに、2030年度CO <sub>2</sub> 排出量半減(2013年度比)	小売事業:1,969万t-CO <sub>2</sub> (53.4%減) 発電事業:1,562万t-CO <sub>2</sub> (37.6%減)	<b>供給面</b>	再生可能エネルギーの新規導入量 ①	2020~2030年度 30~70万kW	37.0万kW	カーボンニュートラル電力の活用拡大 安全確保を大前提とした原子力発電の活用 ②	島根原子力発電所2号機再稼働および3号機運転開始の早期実現	(2号機) 2025年1月営業運転再開 (3号機) 新規制基準審査対応中	<b>需要面</b>	火力発電のトランジション ③	火力発電効率	火力A:1.04 石炭:45.51%	お客さまの脱炭素化ニーズにお応えするソリューション提案 ④	省エネ・電化に資する製品・サービスのお客さまへの提供	2030年度 エコキュート普及台数90万台以上	75万台	項 目	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	スコープ1 (事業者自らによる温室効果ガスの直接排出)	1,961万t-CO <sub>2</sub>	1,805万t-CO <sub>2</sub>	1,583万t-CO <sub>2</sub>	スコープ2 (他社から供給された電気の使用に伴う間接排出)	0.004万t-CO <sub>2</sub>	0.003万t-CO <sub>2</sub>	63万t-CO <sub>2</sub>	スコープ3 (スコープ2以外の間接排出)	1,300万t-CO <sub>2</sub>	1,327万t-CO <sub>2</sub>	1,185万t-CO <sub>2</sub>
指 標		目 標	2024年度実績																																					
<b>CO<sub>2</sub>排出量</b>		小売事業と発電事業ともに、2030年度CO <sub>2</sub> 排出量半減(2013年度比)	小売事業:1,969万t-CO <sub>2</sub> (53.4%減) 発電事業:1,562万t-CO <sub>2</sub> (37.6%減)																																					
<b>供給面</b>	再生可能エネルギーの新規導入量 ①	2020~2030年度 30~70万kW	37.0万kW																																					
	カーボンニュートラル電力の活用拡大 安全確保を大前提とした原子力発電の活用 ②	島根原子力発電所2号機再稼働および3号機運転開始の早期実現	(2号機) 2025年1月営業運転再開 (3号機) 新規制基準審査対応中																																					
<b>需要面</b>	火力発電のトランジション ③	火力発電効率	火力A:1.04 石炭:45.51%																																					
	お客さまの脱炭素化ニーズにお応えするソリューション提案 ④	省エネ・電化に資する製品・サービスのお客さまへの提供	2030年度 エコキュート普及台数90万台以上	75万台																																				
項 目	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績																																					
スコープ1 (事業者自らによる温室効果ガスの直接排出)	1,961万t-CO <sub>2</sub>	1,805万t-CO <sub>2</sub>	1,583万t-CO <sub>2</sub>																																					
スコープ2 (他社から供給された電気の使用に伴う間接排出)	0.004万t-CO <sub>2</sub>	0.003万t-CO <sub>2</sub>	63万t-CO <sub>2</sub>																																					
スコープ3 (スコープ2以外の間接排出)	1,300万t-CO <sub>2</sub>	1,327万t-CO <sub>2</sub>	1,185万t-CO <sub>2</sub>																																					
	(訂正後) 1,971万t-CO <sub>2</sub>																																							
	(訂正後) 1,192万t-CO <sub>2</sub>																																							

## P 63 TCFD 提言に基づく情報開示

[CO<sub>2</sub>排出量削減目標達成に向けた取り組み(概観)]



## P 68 TNFD 提言に基づく情報開示

(直接操業プロセスと自然への依存・インパクト)

訂正内容		
操業プロセス		
原子力	投入資源	離れた場所からの調達:核燃料、化学物質 拠点周囲からの調達:上水、工業用水、海水(冷却用)
	生産プロセス	生産プロセス:核分裂、蒸気の発生、発電、冷却 負荷低減:冷却
	排出	拠点周辺への排出:海水、排水(pH等)、騒音、光(蒸明)、振動 離れた場所への排出:気体廃棄物(ヨウ素)、液体廃棄物(高レベル放射性廃棄物)、使用済燃料 製品・生産物:電気
火力	投入資源	離れた場所からの調達:石炭・LNG・重油、木質バイオマス、LSA重油、 石灰石、化学物質(アンモニア等) 拠点周囲からの調達:上水、工業用水、海水(冷却用)
	生産プロセス	生産プロセス:燃焼、蒸気の発生、発電、冷却 負荷低減:排煙脱硫・脱硝、加熱、冷却、電気集塵、排水処理
	排出	拠点周辺への排出:海水、排水(pH等)、大気放出(CO <sub>2</sub> 、NOx、SOx、 ばいじん等)、騒音、光(照明)、振動 離れた場所への排出:石灰灰、脱硫石こう、汚泥 製品・生産物:電気、石炭灰リサイクル品(Hiビーズ・地盤改良材)、石こう
水力	投入資源	拠点周囲からの調達:淡水地表水
	生産プロセス	生産プロセス:落水、発電、冷却
	排出	拠点周辺への排出:放水、騒音、光(照明)、振動 離れた場所への排出:土砂、堆積物 製品・生産物:電気
太陽光	投入資源	なし
	生産プロセス	生産プロセス:発電
	排出	離れた場所からの調達:光(反射光)
送配電	投入資源	なし
	生産プロセス	生産プロセス:変電、送電、配電
	排出	なし

(訂正後) 離れた場所からの調達:光(反射光)

(訂正後) なし

## P 71 TNFD 提言に基づく情報開示

[測定指標とターゲット]

訂正内容		
GHG排出		
◆サプライチェーン温室効果ガス排出量		(訂正後) 1,192 万 t-CO <sub>2</sub>
スコープ1 1,583万t-CO <sub>2</sub> 、スコープ2 0.002万t-CO <sub>2</sub> 、スコープ3 1,185万t-CO <sub>2</sub>		
		(訂正後) 63 万 t-CO <sub>2</sub>

## P 122 【非財務（ESG）データ】

[環境]

訂正内容				
<b>■環境</b>				
地球温暖化対策の推進 (注)中国電力の数値	2022年度	2023年度	2024年度	
CO <sub>2</sub> 排出係数 <sup>※1</sup> (調整後 <sup>※2</sup> )	0.544kg-CO <sub>2</sub> /kWh	0.511kg-CO <sub>2</sub> /kWh	0.472kg-CO <sub>2</sub> /kWh	
(注)中国電力および中国電力ネットワークの合計数値				
CO <sub>2</sub> 排出量(調整後 <sup>※2</sup> )	2,466万t-CO <sub>2</sub>	2,277万t-CO <sub>2</sub>	1,969万t-CO <sub>2</sub>	(訂正後) 1,971 万 t-CO <sub>2</sub>
(注)中国電力および中国電力グループの大数値				
サプライチェーン温室効果ガス排出量	スコープ1 <sup>※3</sup>	1,961万t-CO <sub>2</sub>	1,805万t-CO <sub>2</sub>	1,583万t-CO <sub>2</sub>
	スコープ2 <sup>※4</sup>	0.004万t-CO <sub>2</sub>	0.003万t-CO <sub>2</sub>	0.002万t-CO <sub>2</sub>
	送配電ロス分	-	-	63万t-CO <sub>2</sub>
	カテゴリー1	182万t-CO <sub>2</sub>	152万t-CO <sub>2</sub>	174万t-CO <sub>2</sub>
	カテゴリー2	64万t-CO <sub>2</sub>	71万t-CO <sub>2</sub>	108万t-CO <sub>2</sub>
	カテゴリー3	830万t-CO <sub>2</sub>	909万t-CO <sub>2</sub>	696万t-CO <sub>2</sub>
	カテゴリー5	4万t-CO <sub>2</sub>	3万t-CO <sub>2</sub>	3万t-CO <sub>2</sub>
	カテゴリー6	0.1万t-CO <sub>2</sub>	0.1万t-CO <sub>2</sub>	0.1万t-CO <sub>2</sub>
	カテゴリー7	0.2万t-CO <sub>2</sub>	0.2万t-CO <sub>2</sub>	0.3万t-CO <sub>2</sub>
	カテゴリー11	220万t-CO <sub>2</sub>	192万t-CO <sub>2</sub>	202万t-CO <sub>2</sub>
SF <sub>6</sub> 排出量		1.5t	1.5t	1.7t
SF <sub>6</sub> 回収率	点検時	99.7%	99.7%	99.3%
	廃棄時	99.4%	99.4%	99.4%
(注)中国電力グループの大数値				
特定フロン等排出量		0.6t	0.8t	1.3t

(訂正後) 704 万 t-CO<sub>2</sub>

## P 125 非財務（ESG）データ

〔人材〕

訂正内容			
人材マネジメント指標			
	2022年度	2023年度	
人権の尊重 （注）中国電力の数値。			
職場人権研修受講者数	3,872人	3,846人	
職場人権研修受講率	99.8%	100%	
人権研修の延べ受講者数	4,783人	4,771人	
安全と健康の推進 （注）中国電力の数値。			
災害度数率 <sup>※1※2</sup>	0.00	1.00	
死亡・休業災害	社員 <sup>※2※3</sup>	0件	7件
	請負	4件	9件
死亡災害	社員 <sup>※3</sup>	0件	0件
	請負	0件	1件
電気・墜落灾害	社員 <sup>※3</sup>	0件	0件
	請負	0件	2件
業務上交通事故(人身事故)件数	4件	1件	
疾病休務率(アブセンティーアイズム) <sup>※2</sup>	0.95%	1.14%	
要指導者率(プレゼンティーアイズム) <sup>※4</sup>	1.57%	1.28%	
定期健康診断有所見率	87.0%	86.1%	
精密検査受検率	61.8%	62.8%	(訂正後) 64.4%
要治療者受診率	52.4%	43.3%	(訂正後) 43.6%
ストレスチェック受検率	89.3%	93.5%	
高ストレス者率	6.6%	6.8%	
総合健康リスク <sup>※5</sup>	73.5	74.2	

## 2. SASB スタンダードに基づく情報開示

表1. サステナビリティ開示トピック及び指標

〔温室効果ガス排出及びエネルギー資源の計画〕

訂正内容					
トピック	指標	カテゴリー	測定単位	コード	2024年度の取り組み実績（開示内容）
温室効果ガス排出及びエネルギー資源の計画	(1) グローバルでの「スコープ1」の総排出 (2) 排出制限規制下における「スコープ1」の総排出の割合 (3) 排出報告規制下における「スコープ1」の総排出の割合	定量	CO <sub>2</sub> 相当のメートル・トン、パーセンテージ[%]	IF-EU-110a. 1	(1) 15,830,000 [t-CO <sub>2</sub> ] (2) 0 [%]（日本では「規制市場」が存在しないため） (3) 100 [%] ※スコープ1排出量は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく温室効果ガス(CO <sub>2</sub> 、N <sub>2</sub> O、SF <sub>6</sub> 、CH <sub>4</sub> )の直接排出
	電気供給に関連する温室効果ガス(GHG)排出	定量	CO <sub>2</sub> 相当のメートル・トン	IF-EU-110a. 2	20,230,000 [t-CO <sub>2</sub> ] (19,690,000 [t-CO <sub>2</sub> ]) ※括弧内は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく固定価格買取制度等の反映後のCO <sub>2</sub> 排出量
	○「スコープ1」の排出を管理するための長期的及び短期的な概略又は計画 ○排出削減目標 ○それらの目標に対するパフォーマンスの分析についての説明	説明及び分析	—	IF-EU-110a. 3	当社グループは、中国電力グループ経営ビジョン「エネルギーアレンジ2030」において、重点課題の一つとして「気候変動の緩和」を掲げ、2030年度に向け取り組みを進めています。また、「2050年カーボンニュートラル」実現に向けて、取り組みを具体化させるため、「中国電力グループカーボンニュートラル戦略基本方針」を策定し、方針、目標および重点施策を定めました。 【排出削減に向けた取り組み】 ○再生可能エネルギー ・2030年度までに30~70万kWの新規導入（2019年度比） ・2050年度に向けて導入量を最大限拡大 ○原子力発電 ・安全を大前提とした早期稼働・安定的な運転継続 ・最新鋭技術の検討・活用 ○火力発電 ・非効率石炭火力フェードアウト ・高効率石炭火力、バイオマス発電の活用 ・CO <sub>2</sub> 分離回収・IGFC、カーボンリサイクルの技術開発 ・水素・アンモニア発電について、2030年までに実装準備 ・脱炭素電源の活用（水素導焼発電、アンモニア導焼発電、IGFC+CCUS/カーボンリサイクル等） 【排出削減目標】 ・小売事業と発電事業ともに、2030年度CO <sub>2</sub> 排出量半減（2013年度比） ・「2030年度におけるエネルギー需給の見通し」に基づく国全体の排出係数実現に向けて挑戦する 【お客様・地域の脱炭素化】 ・お客様・地域の脱炭素化に資するサービスの開発と事業展開 【達成度の分析】 再生可能エネルギーの導入拡大や化石エネルギーの効率的利用等により、小売電気事業におけるCO <sub>2</sub> 排出量は、2013年度4,228万t-CO <sub>2</sub> に対し、2024年度は1,969万t-CO <sub>2</sub> と大きく削減しています。
					(訂正後) 20,290,000[t-CO <sub>2</sub> ] (19,710,000[t-CO <sub>2</sub> ])
					(訂正後) 1,971万t-CO <sub>2</sub>